

## 「新しい戦前」を阻止し、立憲主義に基づく政策を実現するための政策合意書（1009 修正案）

### 1. 戦争や「核」の危険から、平和を守る

「台湾有事」や「北朝鮮ミサイル発射実験」を口実とした九州・沖縄地方における戦争準備は、市民の生命を、むしろ直接的な危険にさらします。もし、原子力発電所が武力攻撃を受けたら、放射能により私たちの生命・健康は損なわれます。

国際紛争は、軍事力の強化や武力による威嚇では解決できません。私たちは憲法9条や非核3原則の精神を守り、**安保法制を廃止し**、日常的国際交流で相互信頼を築き、外交努力で問題解決することを望みます。「核」に関してはまずは、核兵器禁止条約を早急に**署名・批准**しなければなりません。

### 2. 暮らしを守る

政府与党が推し進めようとしているような、戦争準備のための5年間で43兆円にも及ぶ防衛予算は必要ありません。むしろ予算は、国民の保育・教育や医療・福祉の充実のために使われるべきです。また、中小企業支援とあわせて最低賃金を引き上げて生活の底上げを図り、貧富の格差是正に努め、国民が安心して暮らせる社会を目指します。

消費税負担の軽減を含め総合的な税制の公平化を目指し、低所得者層の税負担を軽減し、富裕層と大企業に応分負担を求めます。

地域環境破壊とギャンブル依存症を招くカジノ事業に反対します。

### 3. 人権を守る

この間、マイナンバーカード問題、入管法改悪、**LGBT法**などに端的に見られるように、今の政府・与党を中心にした人権感覚は問題です。ジェンダー平等も世界的には大きく立ち遅れています。子どもたちを含めた一人一人の人権が尊重され、多様性を認め合い、みんなが共生し自分らしく生きられる社会を実現します。

とくに、マイナンバーカードは多くの問題を孕んでおり、政府に健康保険証との紐付けを強行させることなく、個人情報保護を第一とし、自治体・国民の声を聞いて政策を実施します。

### 4. 地球環境を守る

2つ目の地球はありません。気候変動など地球環境の危機に対応する、積極的で早急な対策が必要です。地域ごとの特性を生かした再生可能エネルギーを基本とする分散型エネルギー社会を構築し、あらゆる政策資源を投入して、脱炭素社会・原子力エネルギーに依存しない原発ゼロ社会を一日も早く実現します。

### 5. 以上の政策実現のために、市民と野党が協同することを推し進めます。